はじめての参戦ライブレポ

読者の要望にお応え！　ライブ経験ゼロの編集部員が、経験者に連れられて行ってきました。ライブに興味はありつつも勇気が出なかったあなたも、これを読めば心構えはばっちり！　（すーだ）

参加したライブは……

☆２人組音楽ユニット「DUSTCELL」の東名阪ツアー☆
公演名……DUSTCELL TOUR 2024「光」
会場……Zepp Osaka Bayside
日時……2024/10/５（土）　17:00開場　18:00開演

この記事の情報は特筆したもの以外、このライブ（チケットの倍率が高くない）・会場（自由席、立ち見）に限るものです。

下準備

同行者：秋桜が作成してくれたプレイリストを聴く

（耳ぐすりしながら知らないアーティストだったので……）

チケット販売はたいてい9+（イープラス）をインストールし、秋桜が入手してくれたチケットをオンラインで受け取り

チケットぴあ・ローチケのどれかのアプリで対応可能。ファンクラブや公式ホームページで先行販売があることも。「○○ライブ」で検索し、発売スケジュールを確認しよう

人気のライブだと高倍率の抽選があるけど、せっかく当たったのに入金を忘れて泣いてる人を割と見る……

（そういう雰囲気のライブではないと後日教わる）

*ロッカーはそれなりにあるっぽいけど、なるべく荷物は最小限で（チケットをダウンロードしたスマホとお財布があればなんとかなる）。雨が降ってても折りたたみ傘で耐えましょう
*当日、チケットに加えて別途ドリンク代(600円)。ライブハウスへの入場料的な感じ)が必要。現金or PiTaPa以外の交通系ICが使えます
*曲によっては跳んだり跳ねたりになる（CULT,ORIGINALとか）から、動きやすい靴、服装で
*物販は時間的にしんどい

「動きやすい服装」とは具体的にどのような服装なのかわからず悩んだ挙句

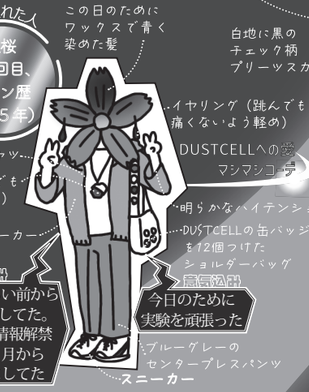
ふつうにみんなオシャレだった

↓↓↓↓↓↓↓

意気込み
学生実習を乗り切るためのパワーをもらいに来た

萌葱（２回目）

低音いつ上も地味っ繋いで16時半に桜島駅へ



このライブのテーマカラーが青だそう

意気込み
１週間くらい前から楽しみにしてた。ていうか情報解禁された５月から楽しみにしてた

意気込み
今日のために実験を頑張った

ブルーグレーのセンタープレスパンツ

小海（このバンドのライブは初めて）

意気込み
終わった後にぶっ倒れる気で臨む。でないともったいないしアーティストに失礼。アーティストはぶっ倒れる気で来るはず

※この人はライブ自体は百戦錬磨

周りの人の服装が普段交わらない系統すぎてビビる

※私が勝手に怖がっているだけで皆さん普通の方々です。ていうかいい方々です。→

服装について悩むより先に

会場に着いたらすべきこと

・周りに尋ねつつおおむね整理番号順に並ぶ
・開場したら数十番ごとに呼ばれるので、チケット画面とドリンク代（次頁参照）を準備
・チケットの整理番号は席順ではなく入場順。いい席が欲しければ入場後に頑張る
☆身分証明書が必要になることも

はみだしすてーじ

ポイントは 紙とネットの どちらのが 当たりやすいか 統計取りたい　（エ・１　どらせな）
⇒力作の　短歌をくれて　うれしいが　当たりやすさは　皆に公平　（……もしや、言わない方が読者カードが増えていた？；編）

600円で全員購入のドリンク。チケットを見せた直後（財布を開く暇なし）に代金を払って引換券をもらい、開演前か終演後のうち好きな方で引き換えます。種類を選ぶ時間はほぼないので勘で選ぶか、事前に大まかに決めておきましょう。

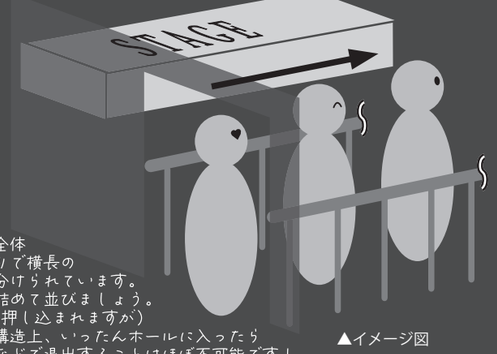
17:00　開場

Zepp Osaka Baysideのオリジナルボトルホルダーもプレゼント！

光の演出を見えやすくするために、スモークが立ち込めます。

17:40　席に到着

ホール全体が手すりで横長の区間に分けられています。奥から詰めて並びましょう。（嫌でも押し込まれますが）
※この構造上、いったんホールに入ったらトイレなどで退出することはほぼ不可能です！



▲イメージ図

ペットボトル１本600円って高くないッスか？

ドリンク代はドリンク自体というよりも、アーティストとは別に会場に払うお金だよ

18:00　開演！

・周りがいきなり跳ねだす
・内心動揺してもひた隠しにして真似すればＯＫ

ペンライトの色もファンの間では曲ごとにだいたい統一されてるらしい

・手の動きも見よう見真似で
・最初四分音符だったのに途中から二分音符になったり全音符になったりして難解すぎるが、間違えても誰も見てないのでＯＫ

熱気がすごいが冷房もすごいので無事

・力配分を間違えると腕が死ぬ
・穏やかな曲調のところでは控えめに動かして腕を休めるべし

コール＆レスポンスもできないほど泣いているのに次の曲が知らされてから２秒でペンライトの色をセットする秋桜

人によってノリ方が違う見ていると面白い

幸せ。これで実習も怖くない。今日の思い出だけで当分生きていける

前のライブでめっちゃ力もらったから、それ信じてきてよかった

こっちも音楽頑張ろうと思った。新米の自分に「無意味な歌はない」（『無垢』より）って言ってくれて、やっていいんだなと

◀ライブの直後に炭酸飲料を開けてはいけない（当たり前）

生演奏を聴き、技巧に感心するのもさることながら、頭を真っ白にして体ごと音楽に浸れることこそライブの醍醐味かもしれません。また、周りの人の熱気にも圧倒されました。初対面と思われるファン同士が言葉を交わしている場面も多く目撃。共通の話題にハイテンションが重なり、確かに話しかけやすそうですよね。今回は同行者に助けられっぱなしでしたが、意外と１人で行ってもなんとかなる!?

はみだしすてーじ

来春の卒業までにもう一度クロスワードで当選したい　（他　京）
⇒すごすぎて　すぐに短歌と　気がつかず　驚いたから　あなた当選　（言ってみただけです当選してなかったらごめんなさい；編）